

新春恒例 大月駅伝 開催



新春の1月18日(日)、第45回大月市駅伝競争大会が、市内外から76チームの参加をえて開催されました。石井由己雄大月市長の号砲で、色とりどりのユニフォームに身を包んだ第一走者が市役所前を10:30にスタートしました。5部門(一般男子、一般女子、中学男子、中学女子、市内体育会)に分かれ、男子7区間26.8km、女子5区間18.8kmでタスキをつなぎ、健脚を競いました。各部門の優勝チームは、一般男子が3連覇を果たした山梨大学、一般女子が葦崎高校(大会新)、中学男子と中学女子が楡形中学、市内体育会は大月体育会となりました。市内では、中学男子が大月東中、中学女子では猿橋中がトップ、また、一般に混じって明日の風アスリートクラブも4組参加し、選手達は沿道の声援を受けながら疾走していました。

谷村工業高校・教育実践開発発表会

1月26日(月)、うぐいすホールで谷村工業高校(数野均校長)主催の教育実践公開発表会が行われました。今年度からクラフトマン21(地域産業の担い手育成プロジェクト)の取り組みも始まり、産業界から多数の出席をいただき、盛会に実施されました。インターンシップ実践発表で、1年生は全員の実体験を踏まえて人間の幅広さを身につけておく必要性をうったえ、また、2年生は進路に結びついた企業体験から卒業後の就職への意欲が伝わってきました。課題研究発表では、「校内の憩いの場づくり」「H8マイコンの活用例」「水槽デザインの研究」「化学製品の油化研究」「3D-CADによる設計」など、各科の特性を生かした発表が行われ、発表内容の深さから1年間の継続的な学習の成果が伝わってきました。



富士北稜高校・生徒発表会

2月7日(土)、富士五湖文化センターで富士北稜高校(山田泰男校長)主催の生徒発表会が開催されました。進路指導に係わる大学・専門学校及び地域の事業所の関係者、中学校の教職員・生徒・保護者等多数の出席の中、6つの課題発表と部発表、系列の展示等が披露されました。「福祉分野の授業紹介と課題研究発表」「観光と共に生きる」「エコエネルギーの活用」「機械テクノロジー系列で学んだこと」「富士山5合目における二酸化窒素調査」「月江寺ルネサンス計画」と題して、今年度の系列学習内容が発表され、数年間の継続的な研究の取り組みや地域を活性化する提案など意欲的な発表が続きました。また、県代表となる放送部の発表や吹奏楽部の演奏、各部の展示も素晴らしく、目を見張るものがありました。毎日の高校生活の中で目的意識を持って学習に取り組んでいる様子が伝わってきました。



第7回アスリート実技講習会 開催

新年を迎えて初めてのアスリート実技講習会が2月7日(土)に大月市営陸上競技場で行われました。今年例年より暖かい日が続く、この日も快晴の中、小中学生60名余が参加し、元気な声が競技場に響き渡りました。今年度第7回を教え、子どもたちの走りも一段とアスリートらしくなり、各種目に目を輝かせながら取り組んでいました。余すところ3月7日の一回を残すのみとなりました。4月にはまた新しいアスリート挑戦者を募集します。ふるって参加してください。



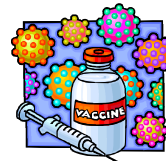
南特連第3・4回学習会 開催

11月18日(火)、ふじざくら支援学校(萩原公子校長)で第3回南特連学習会が行われました。南都留小中学校の特別支援学級に係わる先生方50名余集い、3つのグループ(①発達障害 ②日常生活③運動・動作・体育)に分かれたカテゴリー別学習会と「悩み相談」が行われました。また、1月29日(木)には、第4回が行われ、この日は3つのグループ(①自閉症 ②国語・数学 ③教育課程・進路)に分かれた学習会が行われました。各グループでは、カテゴリー別の専門的な学習を深めながら、具体的に日常の指導に生かせる事を学びました。また、支援学校担当者からの個別相談に対するアドバイスをもとに、具体的な指導方法などが活発に話し合われ、より良く子どもたちを育てるために、日々知恵を絞り、工夫しながら指導していることが伺えました。



『いのちのエコキャップ運動』への協力を！

大月市 PTA 連合会では、昨年 10 月に行われた「明日の大月市の教育を語る会」の提言を受けて、途上国の子どもたちが感染症で命を落としている現状を払拭する取り組みとして『いのちのエコキャップ運動』をスタートさせました。ペットボトルのキャップ 400 個で一人分のワクチンになります。市内各小中学校に『いのちの BOX』を設置して、1 月までに 8 万個（ワクチン 100 人分）のキャップの回収が進みました。子どもたちを含め保護者・地域の皆様の協力なくしてはこの運動は進みません。皆様の積極的なご協力をお願いします。



猿橋小で学校開放行事 開催



新しい年が明けた 1 月 16 日（金）、猿橋小学校（安藤久雄校長）で「新春 お琴演奏鑑賞会」が行われました。「お琴の調べ」は今年で 4 回目、琴演奏家の雨宮洋子先生をお迎えして、猿橋小のお琴クラブと同時演奏、ソロ演奏・二重奏等が披露されました。和の音色の美しさに子供たちは聞き入り、洋曲のとなりのトトロ他数曲が演奏されると、子供たちの口から歌声が聞こえてきました。最後に聞き慣れたメロディーが流れると校歌の全校合唱が体育館いっぱいに広がりました。

雅やかな中で音楽を楽しんだ 1 日となりました。また、1 月 22 日（木）には授業参観及び「命の大切さを感じる集い」『JULEPS』コンサートが開かれました。「命」をテーマにした曲を歌う 4 人ユニットのグループの歌声が体育館に広がりました。子どもたちは、男性ボーカル 3 人の美しいハーモニーを生で聞きながら、曲に込められた命を授かったことへの感謝の気持ちを読み取っていました。



ひばりが丘高校 公開授業



1 月 19 日（月）・20 日（火）、ひばりが丘高校（森屋政文校長）昼間部・夜間部で今年度 3 回目の授業公開が行われ、学校評議員や教育関係者が各クラスを参観しました。教科の特性を生かしながら、映像教材を使ったり、討論形式や TT（ティームティーチング）で授業を進めていました。基本的な指導体制として、少人数での授業が進められ、一人一人を大切に育てていることが伺えました。上級生になるにしたがい、自分の意見を積極的に発言する姿勢が身に付いていると感じました。

都留高校 公開研究授業 開催

10 月 23 日（木）に都留高等学校（川村直廣校長）で公開研究授業が行われ、東部地区中学校の教員十数名及び保護者が授業を参観しました。5 校時は、すべての教室が公開対象になり、耐震工事が音が響いていましたが、生徒達は、先生の講義に集中して耳を傾け、落ち着いた態度で授業に臨んでいました。6 校時に 5 教科 5 教室で研究授業が行われた後、中学校と高校の教員合同で研究協議が行われました。研究授業の研究協議を皮切りに中学校の教科指導の現状や高校への要望等の情報交換が行われ、中高連携の今後の展望に討議が進みました。日常の学校での仕事はもとより、外部との交流の有効性を感じた一日でした。



第 3 回東部地区特別支援連携協議会



2 月 5 日（木）、やまびこ支援学校（田村悟校長）で第 3 回東部地区特別支援連携協議会が行われ、地域内の特別支援教育の現状・相談窓口についての情報交換が行われました。子ども達がより良い方向へ成長していくには、まず親の“困り感”を共有して、早期発見と早期対応が大切であり、そのために保健所や学校、行政機関が連携をとること、また、成長の過程では保・幼・小・中・高・特をつなぐシステムを活用して連携を密にすることが再確認されました。

大月短大附属高校で簿記講座 開催



大月短大附属高校（小俣保春校長）で、一般市民を対象にした日商簿記 3 級講座 A 日程（9 月～ 10 月の火木に 16 回）と B 日程（土 8 回）が行われました。今年度からの試みで、各日程とも、市民 5 名（内大学生 2 名）が参加し、検定試験合格を目指しました。A 日程の講座には、一般市民に混じって、普通科の高校生も受講し、暗くなった夕闇の中の校舎に灯りが煌々とともり、3 時間の講義が延々と続いていました。講師の天野商業科主任は、全員の合格をめざしていると熱く語ってくれました。最終的には、日商簿記 3 級検定試験を 7 名が受検し、4 名がみごと合格しました。

「明日の風」(北都留)・「富士の光」(南都留)掲示板

☆「明日の風」アスリート実技講習会

期日：3 月 7 日（土）9:00～

場所：大月市営陸上競技場

―――掲示板についての問い合わせ先―――

富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ

TEL 0554-45-7841

FAX 0554-45-7823